

# 助成事業完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付:2025年4月1日

事業ID:2024004729

事業名:栃木県大田原市における「子ども第三の居場所」(A)学習・生活支援モデルの運営(最終年度)

団体名:(特)キャリアコーチ

代表者名:理事長 高木 雄大 印

TEL:0287-47-5200

事業完了日:2025年3月31日



## ■契約時

事業費総額	:	10,480,000 円
自己負担額	:	1,930,000 円
助成金額	:	7,680,000 円

■箇所は「収支計算書」より自動転記

## ■事業完了時

事業費総額	:	10,361,712 円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	:	2,681,712 円	収支計算書の緑のセルの値
助成金額	:	7,680,000 円	収支計算書の赤のセルの値。千円未満は切捨
助成金返還見込額	:	0 円	(収支計算書の青のセルの値)

## 1.事業内容

助成契約書記載の事業内容(予定)と、事業完了時の事業内容(実績)を対照可能とするため、助成契約書と一緒に綴じている「事業計画」の事業内容欄を転記した上、体裁を変えずに結果を記入してください。なお、事業内容を複数設定している場合は、各事業内容ごとの完了時の実績を個別に記入してください。事業内容が4つ以上ある場合は、一つの事業内容ボックスに複数ご記載頂いて構いません。

### ■事業内容1

#### (1)助成契約書記載の事業内容(予定)

1.栃木県大田原市における「子ども第三の居場所」(A)学習・生活支援モデルの運営  
(1)期間:2024年4月1日~2025年3月31日(週5日、9時から19時まで開所)  
(2)場所:栃木県大田原市  
(3)対象:20名(家庭や自身に課題を抱えた小学校低学年を中心)  
(4)内容:子どもとの1対1の関係を重視しながら、子どもたちの生活習慣形成や学ぶ意欲向上を支援することで社会的相続を補完する。

#### (2)事業完了時の事業内容(実績)

1.栃木県大田原市における「子ども第三の居場所」(A)学習・生活支援モデルの運営  
(1)期間:2024年4月1日~2025年3月31日(週5日、9時から19時まで開所)  
(2)場所:栃木県大田原市  
(3)対象:17名(家庭や自身に課題を抱えた小学校低学年を中心)  
(4)内容:子どもとの1対1の関係を重視しながら、子どもたちの生活習慣形成や学ぶ意欲向上を支援することで社会的相続を補完する。



#### (3)成功したこととその要因

フリースクールや放課後等デイサービスと連携する事で、不登校児童から発達に特性のある児童まで、それぞれが抱える課題に対して1対1の関係を重視した支援を行う事が出来た。

#### (4)失敗したこととその要因

20名の児童を支援する事を予定していたが、不登校児童の学校復帰や別事業所(学童)への移行に伴い、3月末時点で支援対象児童が17名に留まった。(延べ人数であれば20名以上の実績)

#### (5)事業内容詳細

■事業内容4

(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況



(3)成功したこととその要因

(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

2.契約時事業目標の達成状況:

(1)助成契約書記載の目標

・2025年3月31日までに一日平均利用児童数を10名にする。  
 ・児童への居場所、食事、生活習慣支援、学習支援などの安定的な提供。  
 ・ボランティア等の地域住民や、行政、学校との関係を構築する。  
 ・子どもの「経験の不足」を解消するような定期的なイベント(遠足・工場見学・農業体験・季節行事等)を事業期間内に実施する。

(2)目標の達成状況[700文字以内]

入力文字数	605	文字数チェック	OK
<p>【一日平均利用児童数の達成状況】他施設との併用(放課後等デイサービス、フリースクール、放課後児童クラブ)や、定期的ではなくスポット的な利用をする児童もいたため一日平均利用児童は7名程となった。                  【各支援の安定的な提供の達成状況】児童への入浴や夕食を提供する曜日を保護者と相談した上で取り決め、年間通して生活習慣支援を行った。また、学習支援に関しても団体の別事業として、市から委託事業を受けている兼ね合いもあり、先の事業を担当する団体職員へ児童の宿題の手伝いを依頼する他、タブレットを用いて学習アプリで興味関心を持たせるような学習を行った。さらに、学習に苦手意識を持つ児童については、来所時に時間割表を渡し、自身で予定表を組ませた上で、宿題以外にもアイロンビーズの工作等を行わせるといった学習一辺倒にならないような対応を行った。                  【各機関との関係構築の達成状況】市教育委員会や在籍児童の小学校が施設を訪問するなど関係を深めた。また、他拠点の「スマイルハウス」と合同で江ノ島遠足に行くなど交流を図った。                  【イベント実施の達成状況】地元企業の「資生堂」工場や「カルビー」工場見学、「那須どうぶつ王国」等の遠足の他、クリスマス会やハロウィンパーティー、豆まき等の季節行事も行った。また、2024年度日本財団「子ども第三の居場所」寄付金・支援事業により、親子での「アクアワールド大洗水族館(茨城県)」の県外遠足も実施した。</p>			